

既存の建築物等に含まれるアスベスト飛散防止、ばく露防止対策におけるリスクコミュニケーションの提言と普及する活動

活動地域  日本全域

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

ウェブサイト閲覧数 **5,463**件

ワークショップ参加者 **148**人

今年度計画の達成度 **95**%

目標達成度 **98**%



堺市でのワークショップ

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

深刻なリスクコミュニケーション事案について、それを当事者間で共有することが難しい。

■ 工夫した点

個別のリスクコミュニケーション事案と連携させ、西宮市(大学解体工事)、堺市(条例制定)、さいたま市(再生砕石)でワークショップを開催した。

課題

建築物の解体・改修工事等において当事者が連携し、アスベスト飛散、ばく露防止対策が行われるようになる。

目標

アスベスト対策についての知識、情報、ツールを普及し、リスクコミュニケーションを推進し、成功事例を重ねることによって普及させる。目標件数10件/3年間。

活動内容と成果

アウトカムである個別のリスクコミュニケーション事案と連携しながら全国6か所でワークショップを開催し、148人が参加した。法規制強化を求める署名活動を行い、署名29,900筆を関係省庁へ提出した。また衆議院第1議員会館にて懇談会を共催し、国会議員及び各省庁関係者に抜本的な法改正を求めた。大気汚染防止法改正の小委員会に参加し、法改正に関与した。リスクコミュニケーションの事案は17件/3年で目標を達成したが、解決できなかった課題も残された。台風被害を通じて、災害時のアスベスト対策に寄与した。



北九州市でのワークショップ

全助成期間の活動を振り返って

3年間で17件のリスクコミュニケーション事案に関わり、これらの経験を問題の解決にいかすことができた。過去のリスクコミュニケーション事案と簡易なツールを利用し、アスベストのリスクを伝えることができた。これらの個別の事案の経験をアスベスト関連法の改正にいかすことができた。NPO、大学、学会、労働組合、専門団体、医療関係者、行政とのネットワークを形成した。



衆議院会館での懇談会

〒136-0071
東京都江東区亀戸7-10-1
電話：03-3683-9765
E-mail：center02@toshc.org
HP：http://www.metoshc.org/index.html



今後の展望

本活動を通じて、全国から相談、問い合わせ、学習会またワークショップ等の依頼が増えている。助成期間終了後も活動は継続する必要がある。そのために各地の団体と連携しながら、自主的な取組みを支援し、事例の経験交流と成功事例をネットワーク化していくことが期待できる。これらに対応する形で支援プログラムの構築・提供を行い、そしてネットワークを基盤とした普及・推進活動の継続的実施体制の確立を目指していく。